

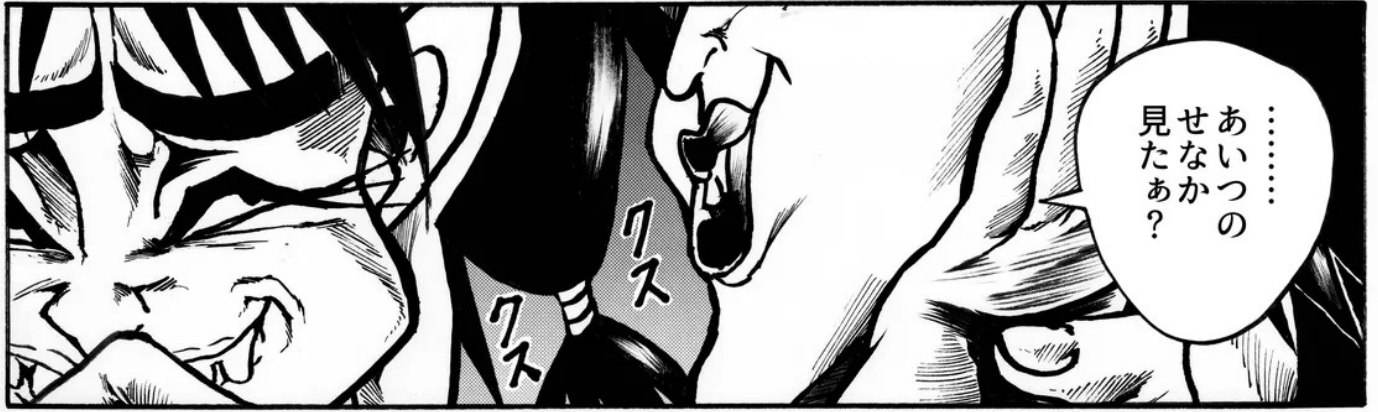
馬太

第 二 卷

第 四 章













あんなに  
ぶつとい  
張形に夢中  
なつてえ……

バキ

バキ









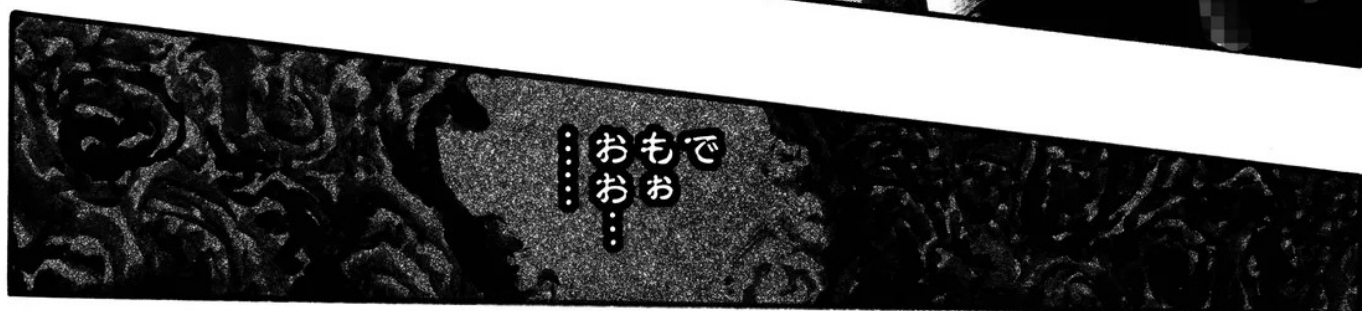


アアア……!!

まんごぜづない  
ぜづないぜづない  
おまんご  
おおまんごおお!!

おまんご  
ずごいいいい!!!!

ア  
ラ  
ア



……  
おも  
おも  
……

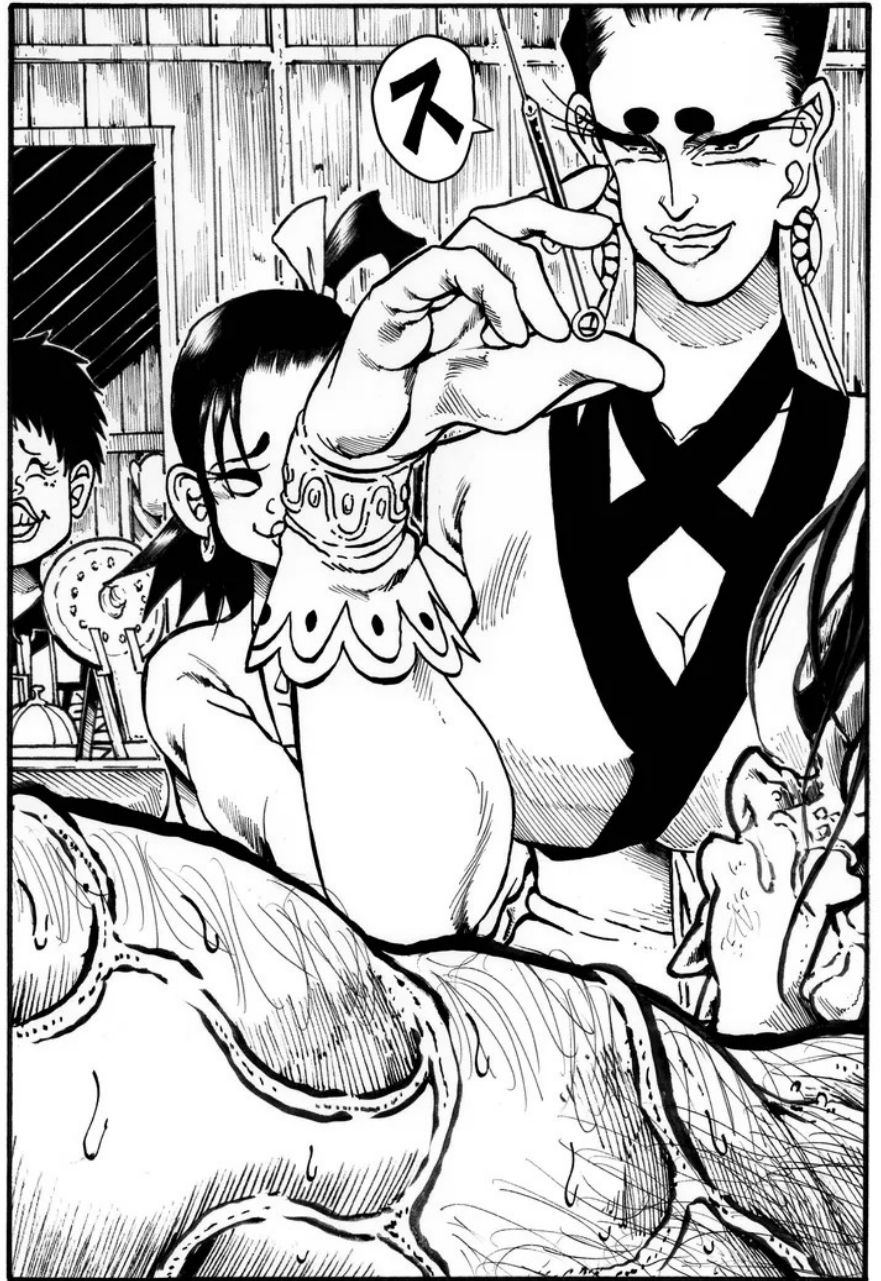
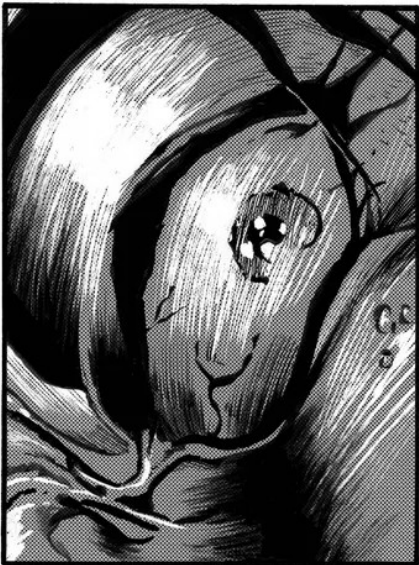
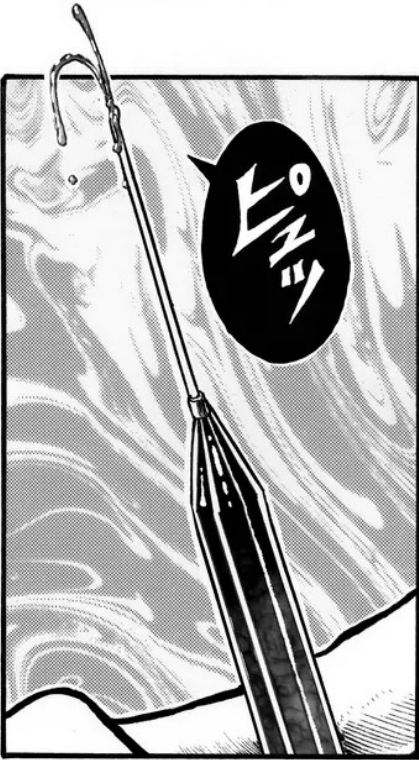
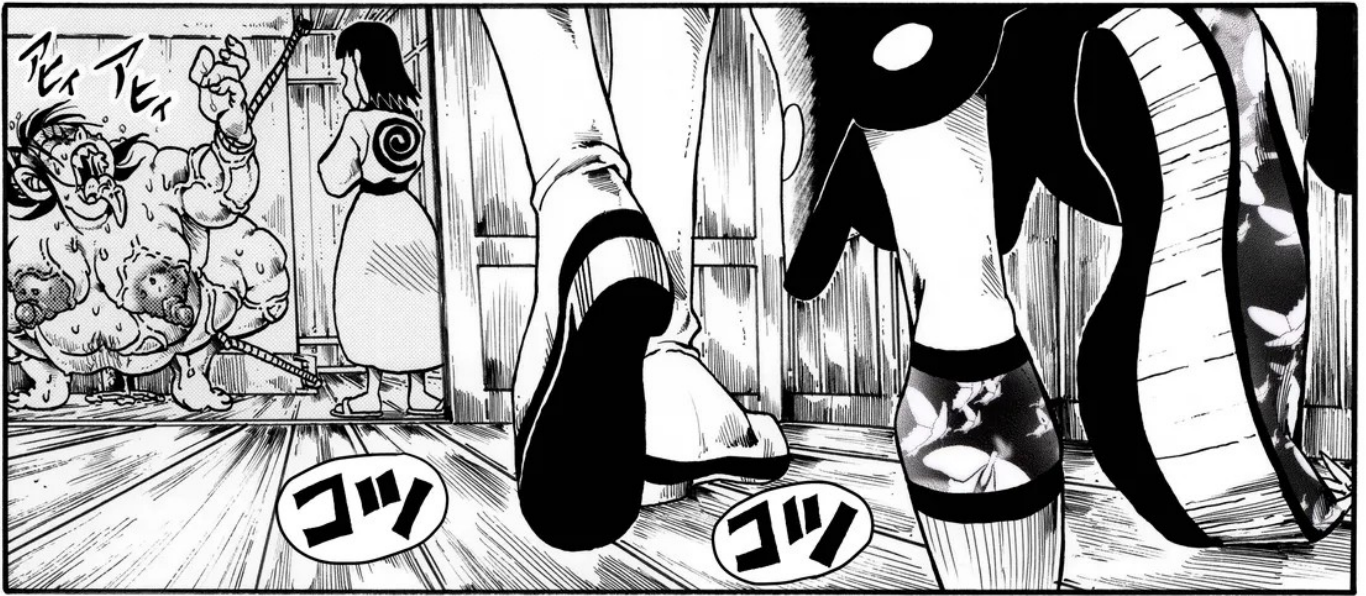


ががらだが重  
いいいい……

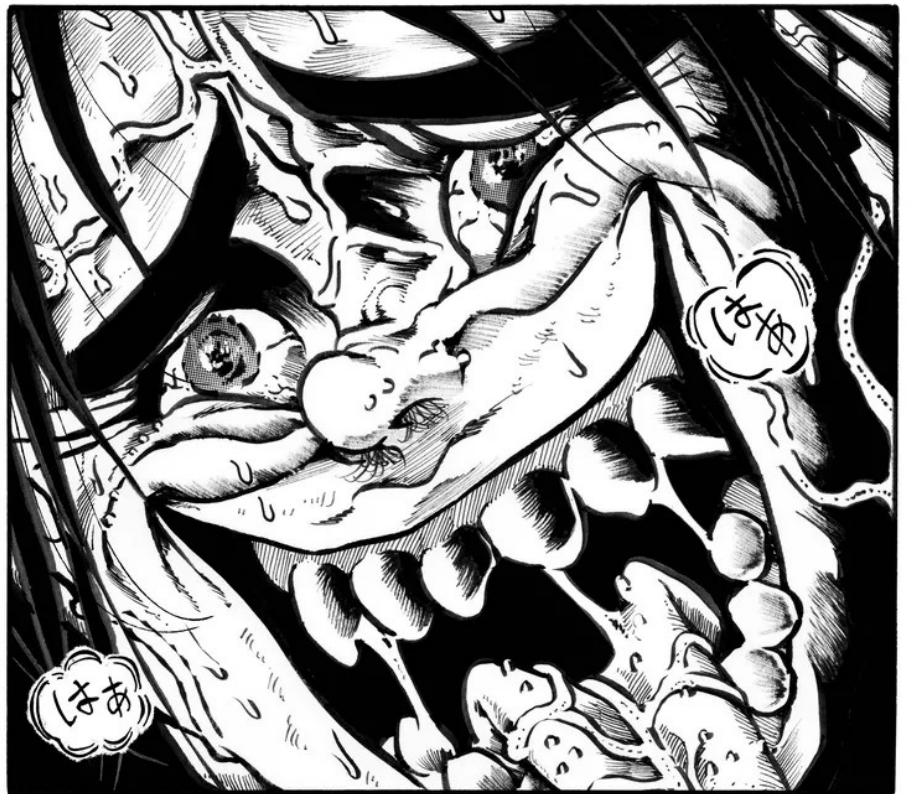
ぢぢ血が  
よよどんでえ  
ええええ……  
あだまが  
にごるう  
ううう……

ダリナイダリナ  
イダリナイイイ……  
もっどドグドグ  
じだいいいい……  
もっどおおお  
おお……!!!





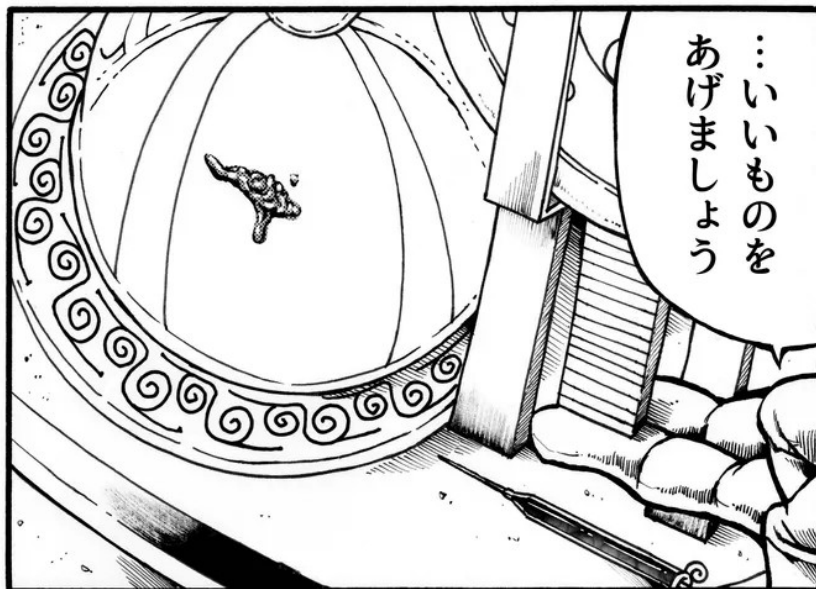
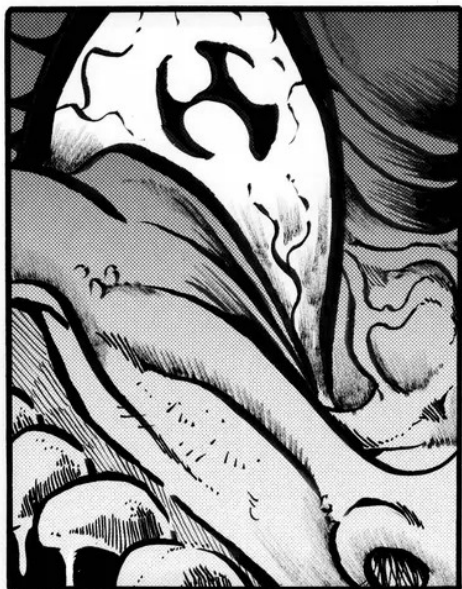












…いいものを  
あげましょう



ほうら……

クルリ

くらんなさあい



醜くて  
おぞましい……

本当の  
あなたが……

むきだしに  
なっちゃうけれど……

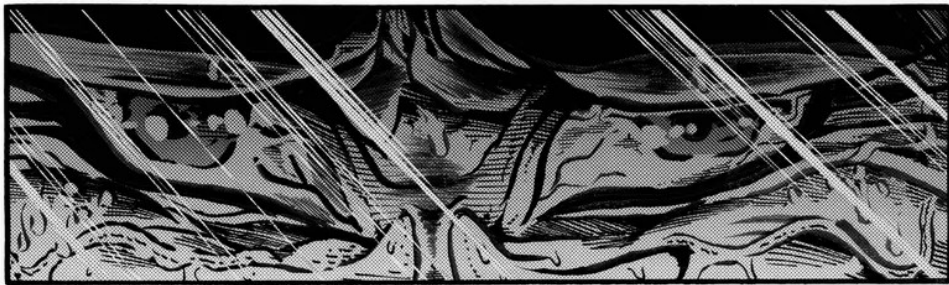
それでも  
かまわない  
かしら？

ただ……

今よりずっと……

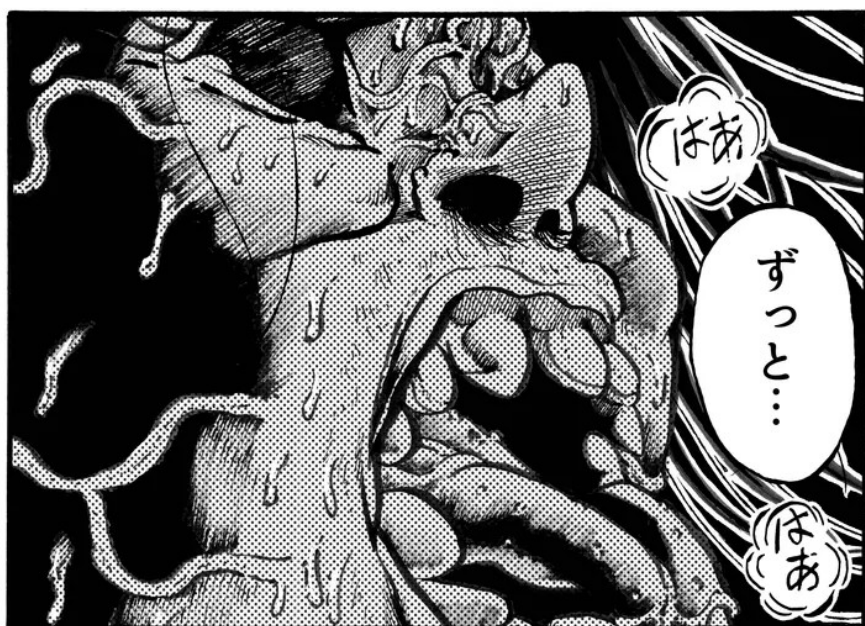




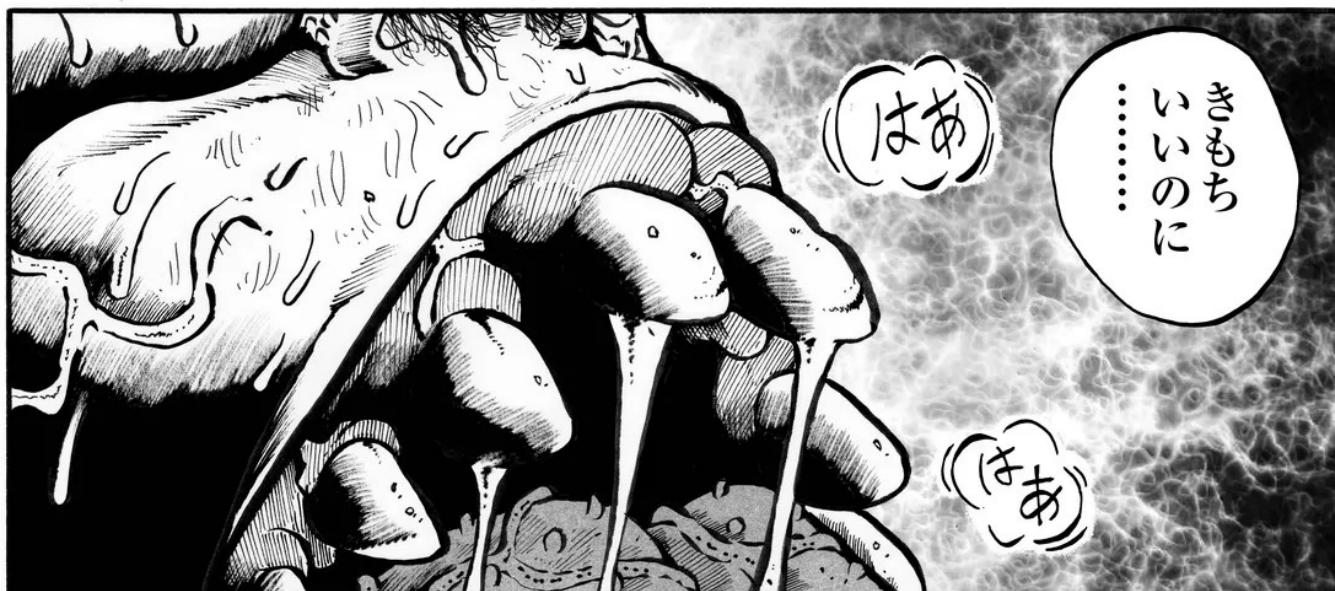






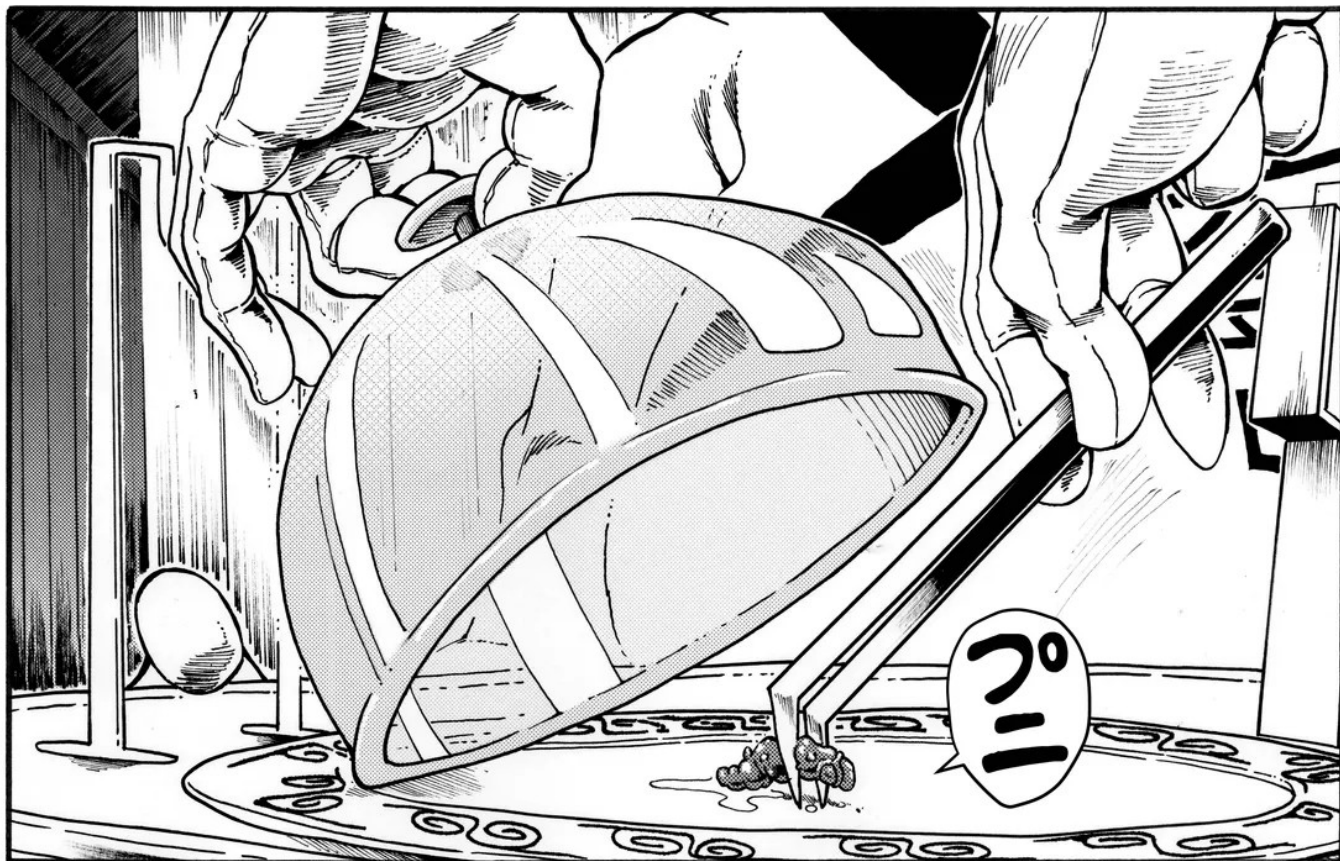


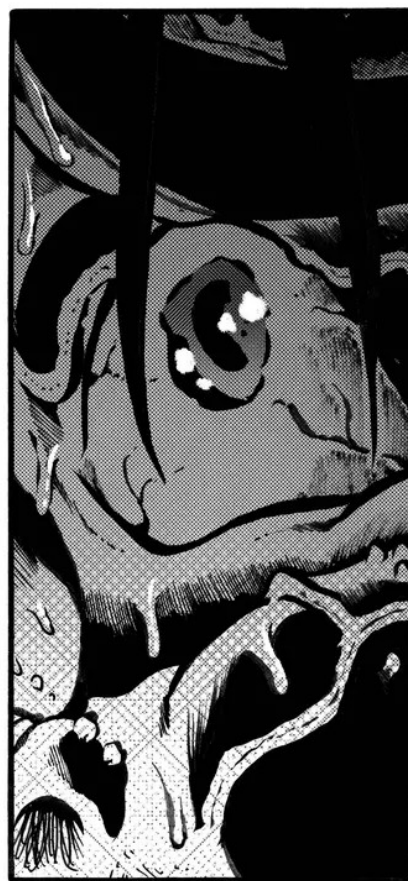


















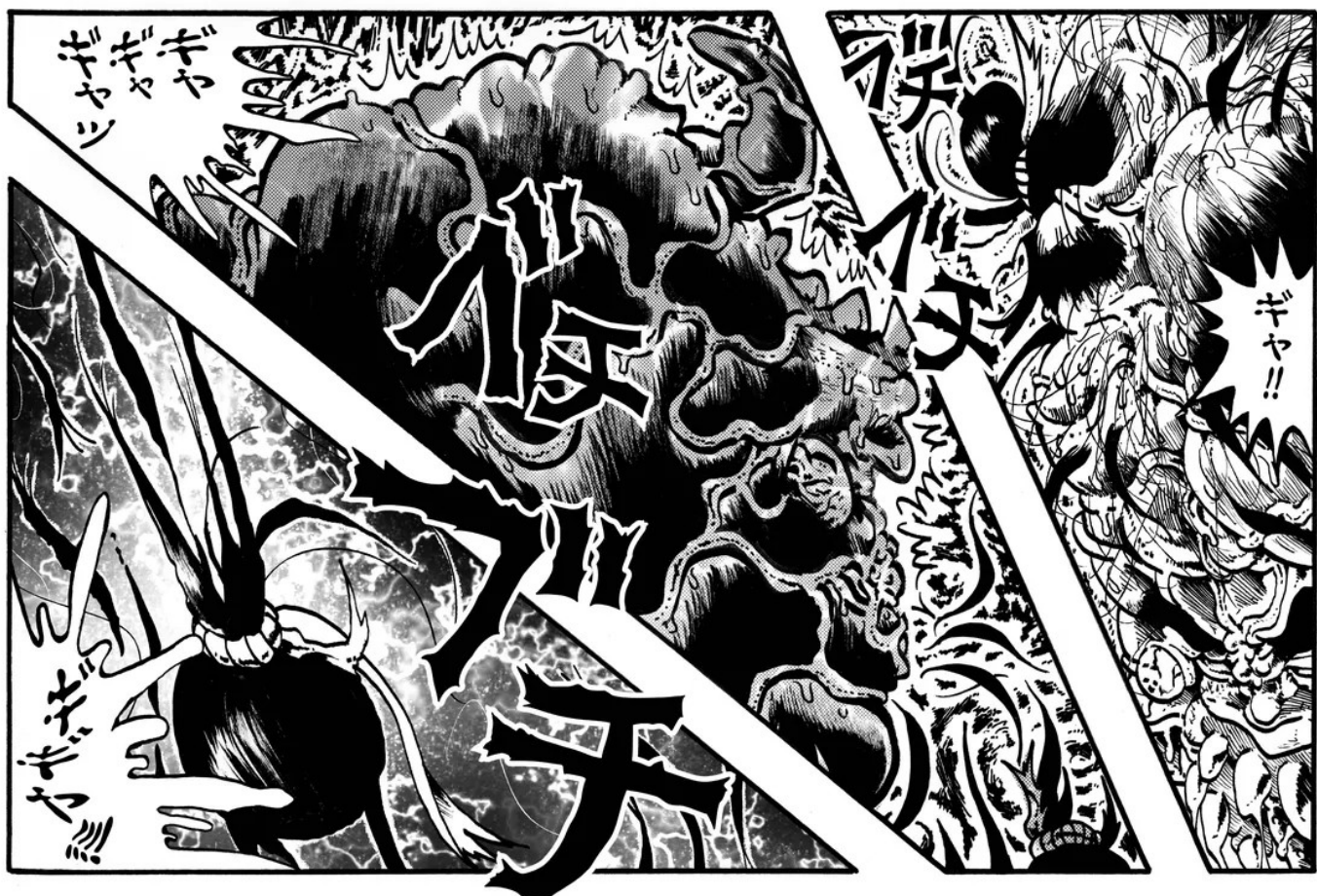
キヤハハハハ!!

なにこいつ!!

ブタでも  
そんな声  
ださない  
わよおお!!

ブザマにも  
ほどがある  
わねええ!!











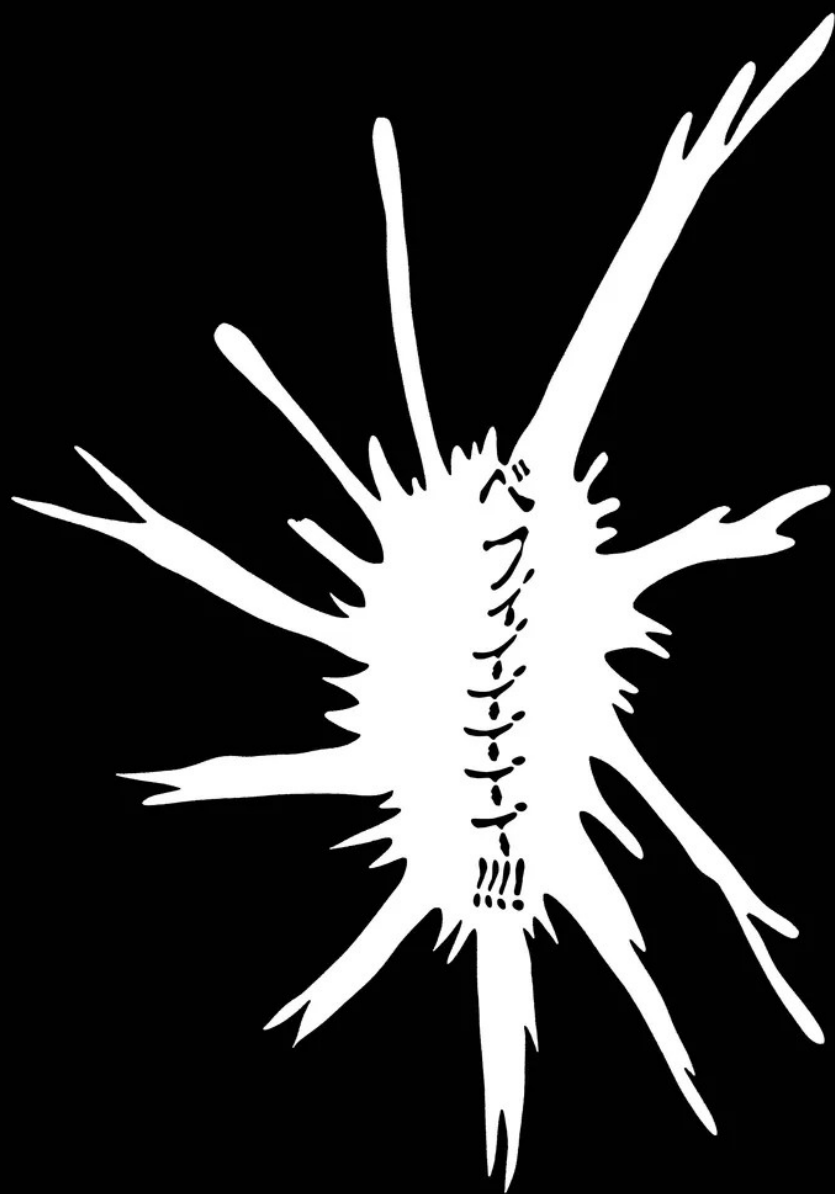






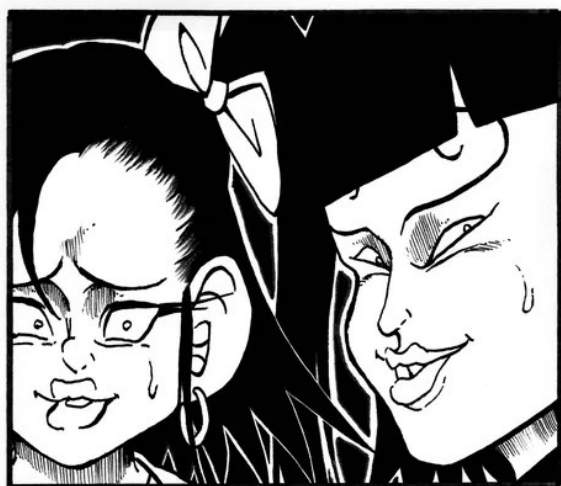
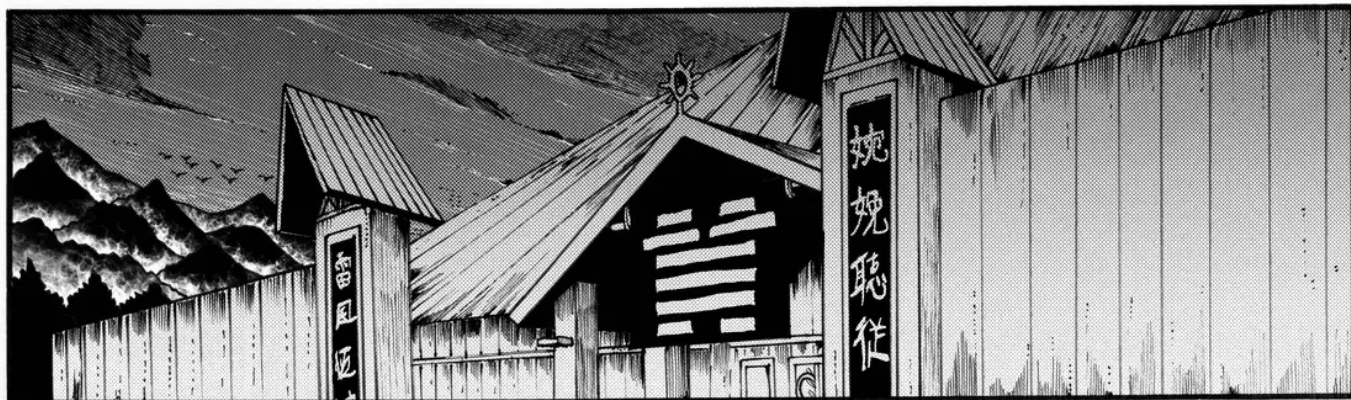
















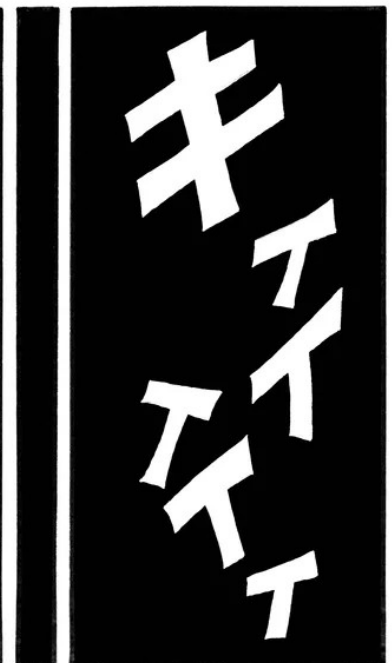


「ハハハ」

「ハハハ」

「ハハハ」





なによおおおお  
そこらじゅう  
糞  
まみれじゃない!!!!



エサがつきた  
からってコイツ!!  
自分のクソ喰って  
る.....!!

まさに  
クソ  
プタ  
屎  
よお!!!





























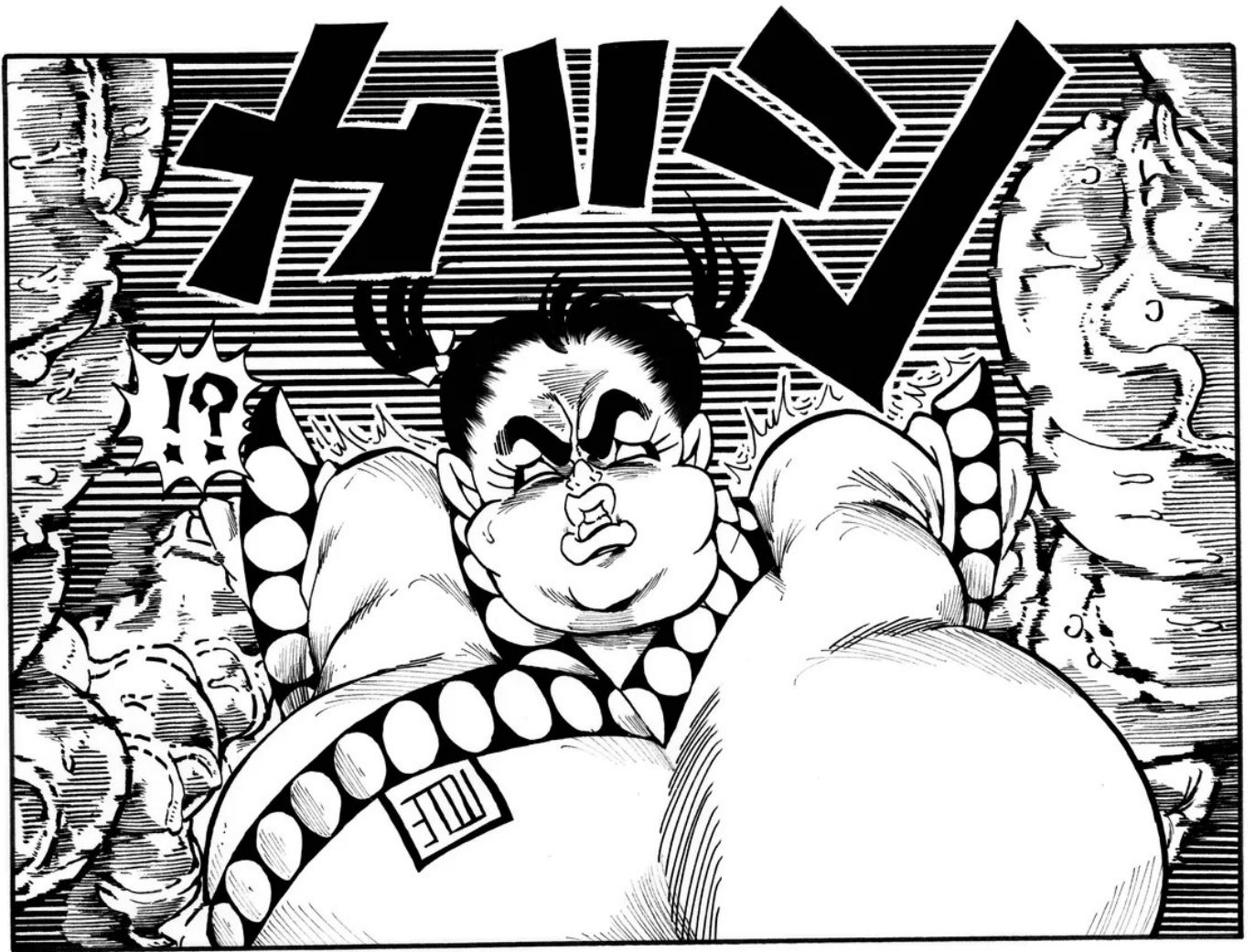










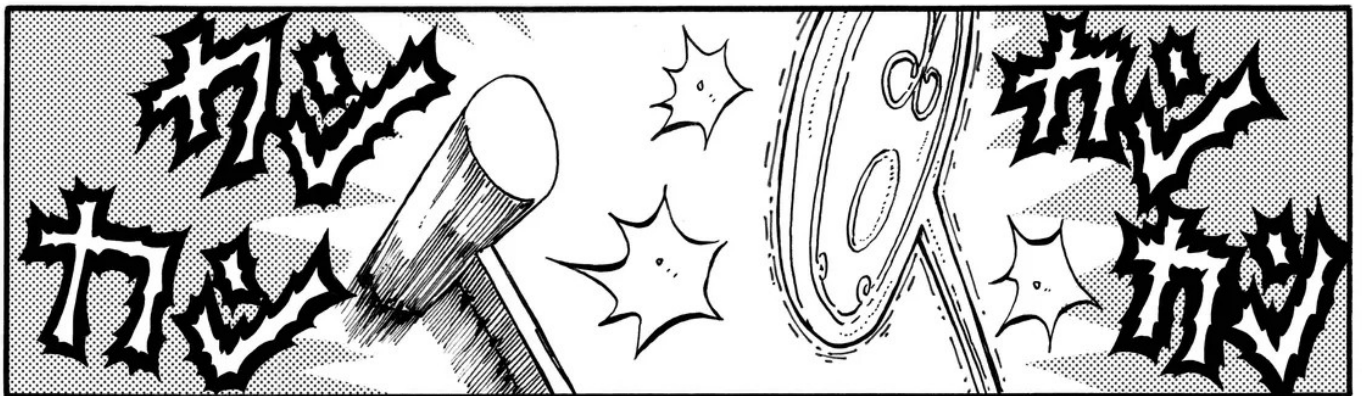
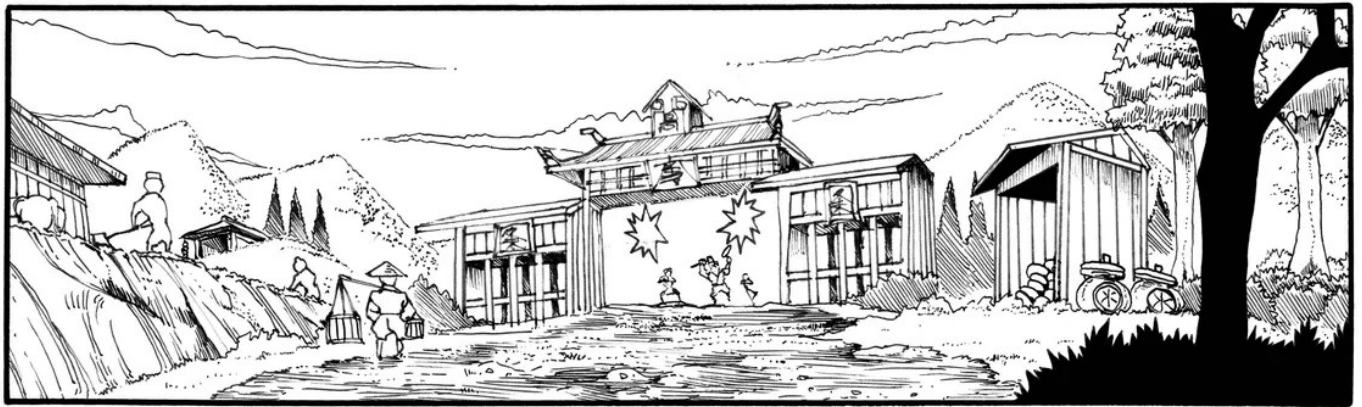




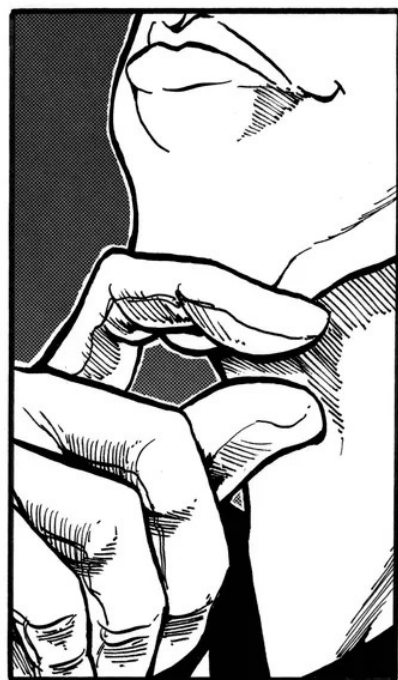












……  
……  
しかし

奇水も  
たくさん  
打って……

肉まで  
つかって……

おもった  
よりも  
たかく  
ついたわあ……

もう  
いつそ……

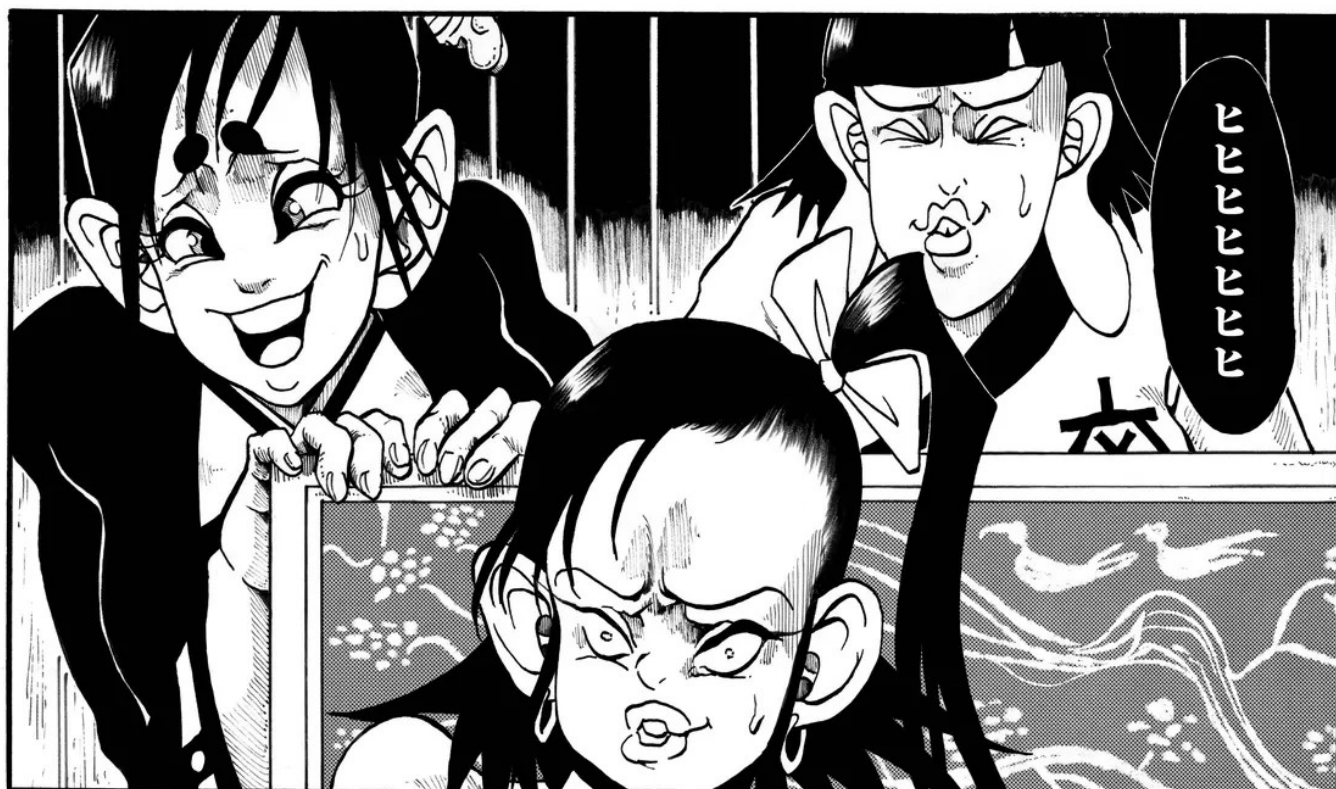
ほかの娘<sup>こたち</sup>林は  
どうなる  
のか……？

そういう  
討究<sup>たうきゅう</sup>くらいは  
ためしたい  
わよねえ……

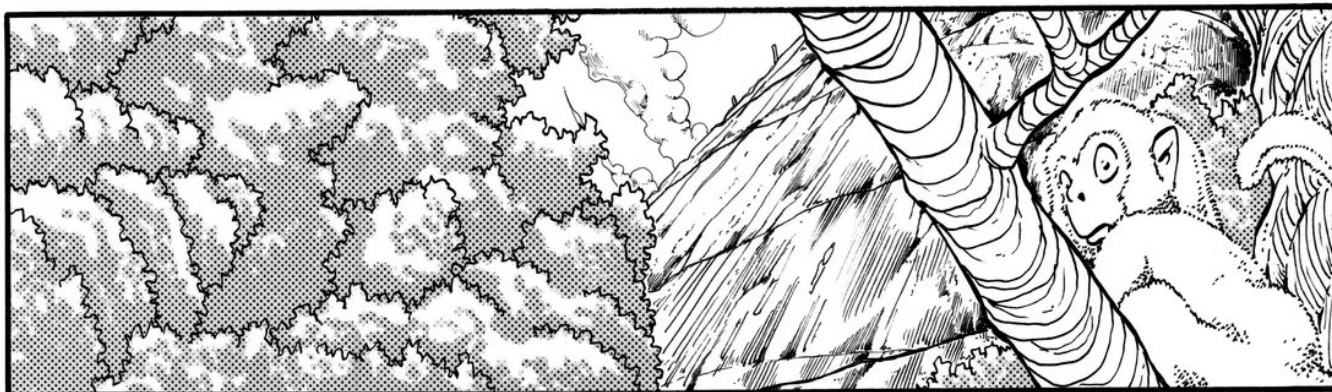
ひとり  
ひとり……

それぞれ……

ちがう風……  
しあがる  
もの  
だから……

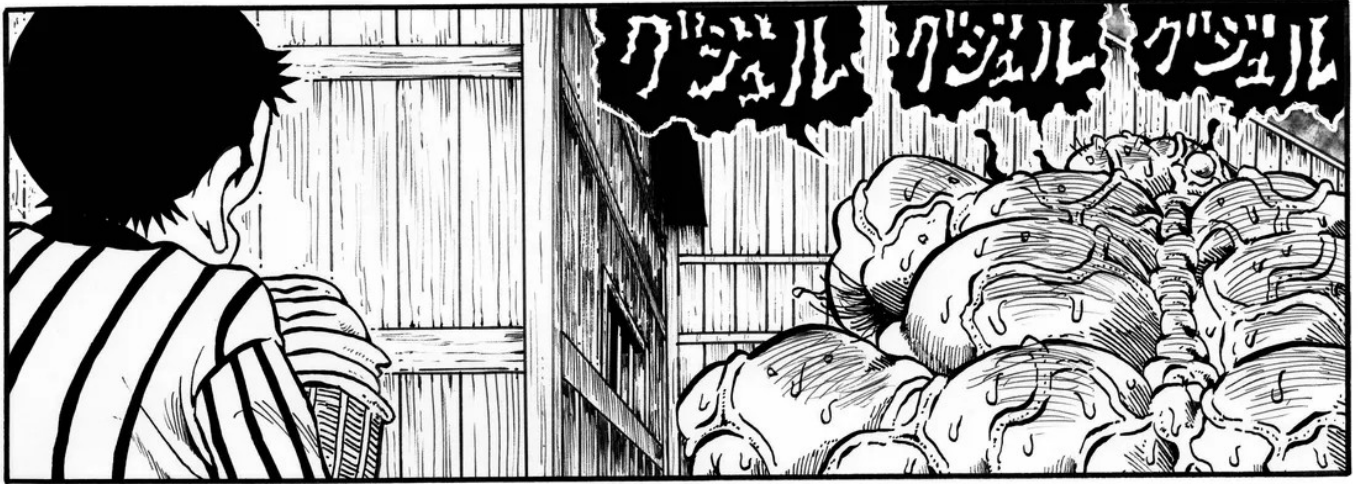


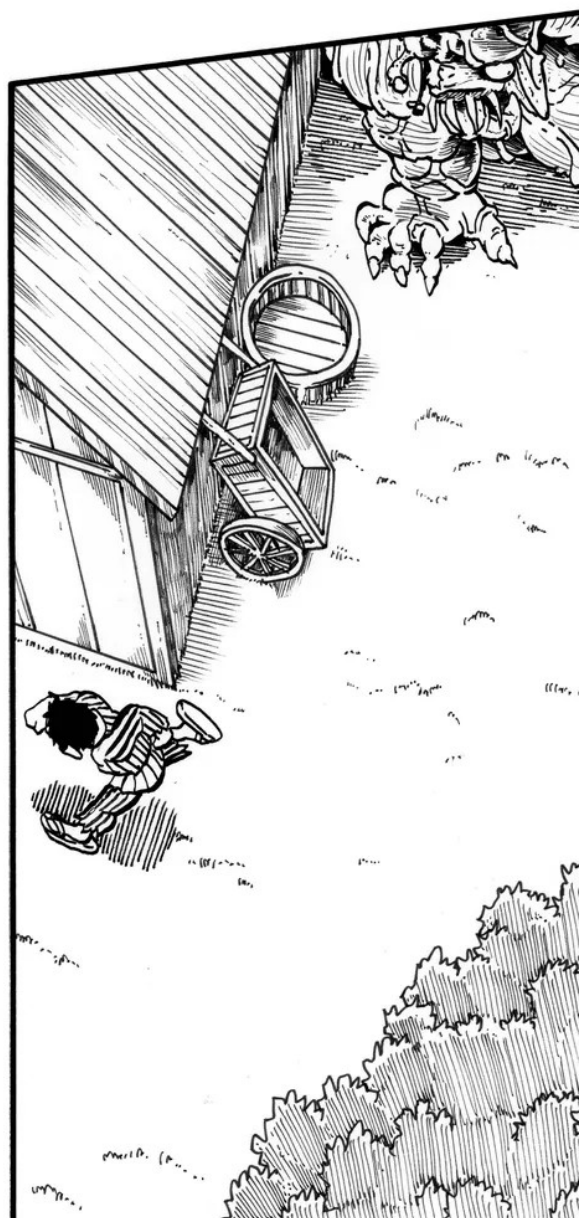
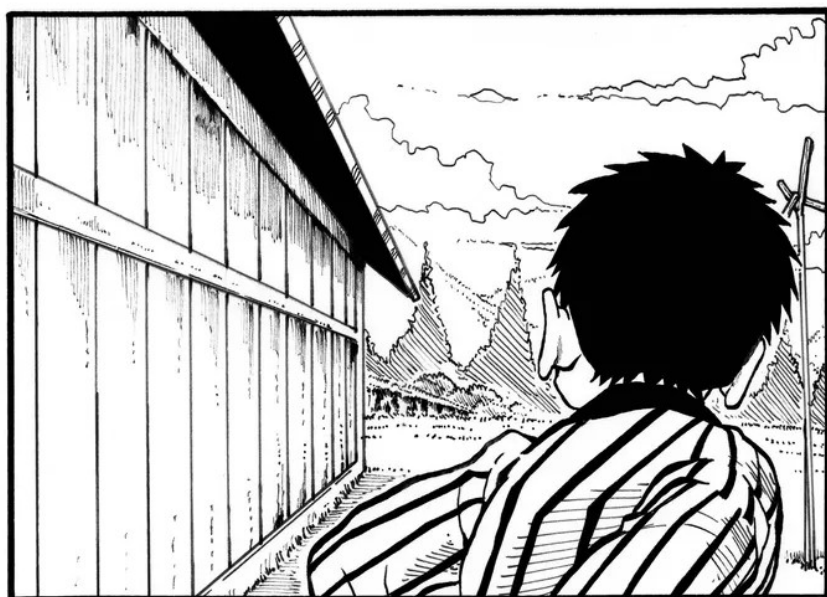




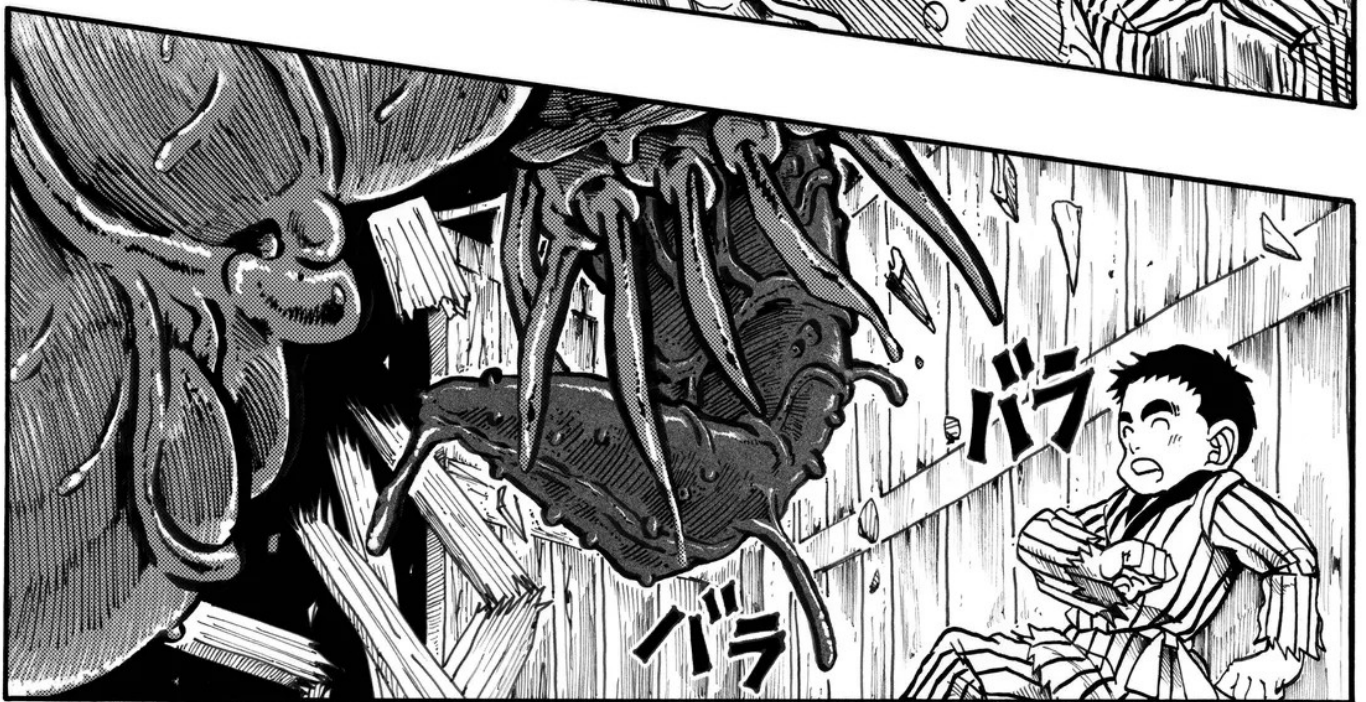
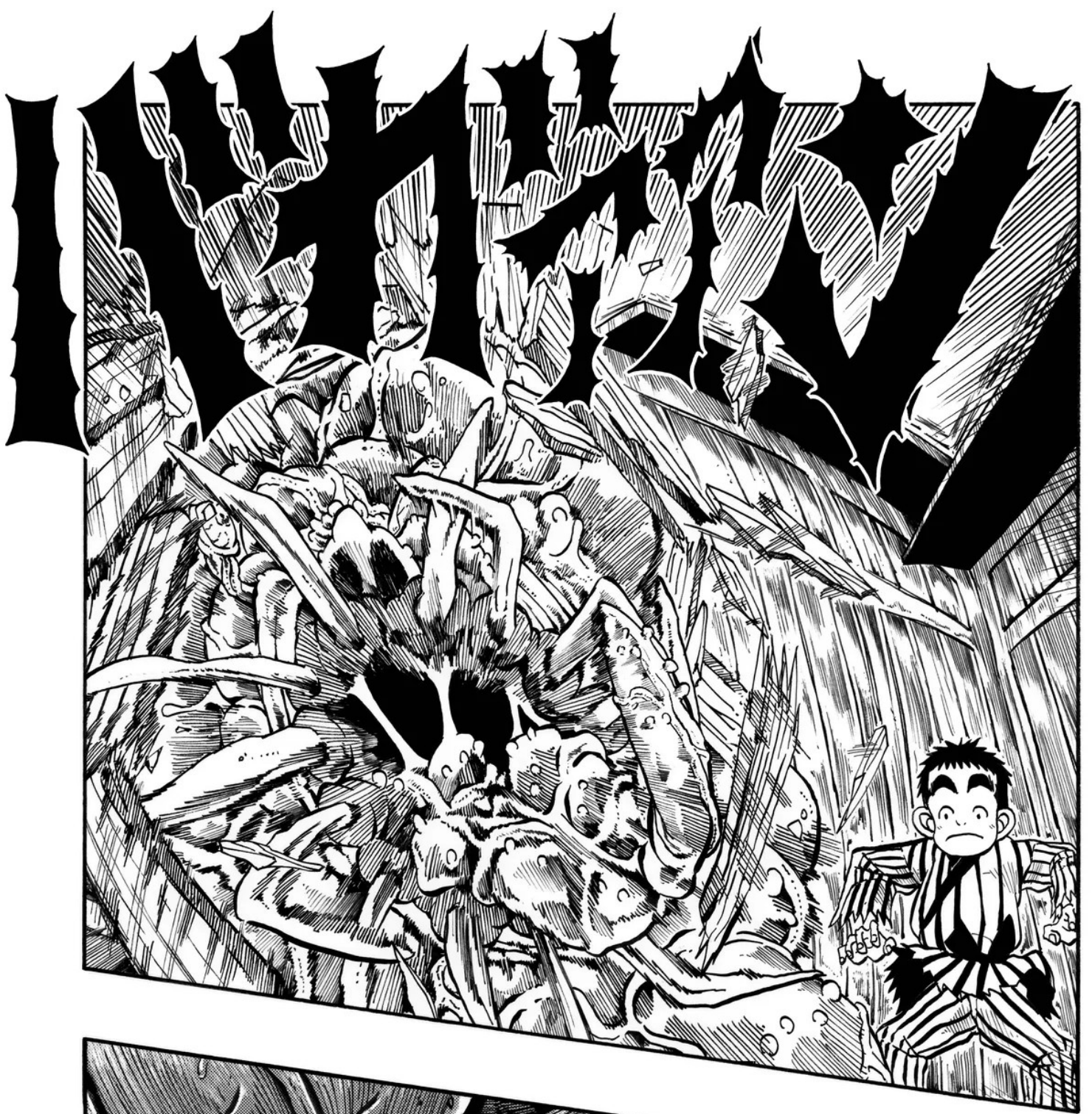


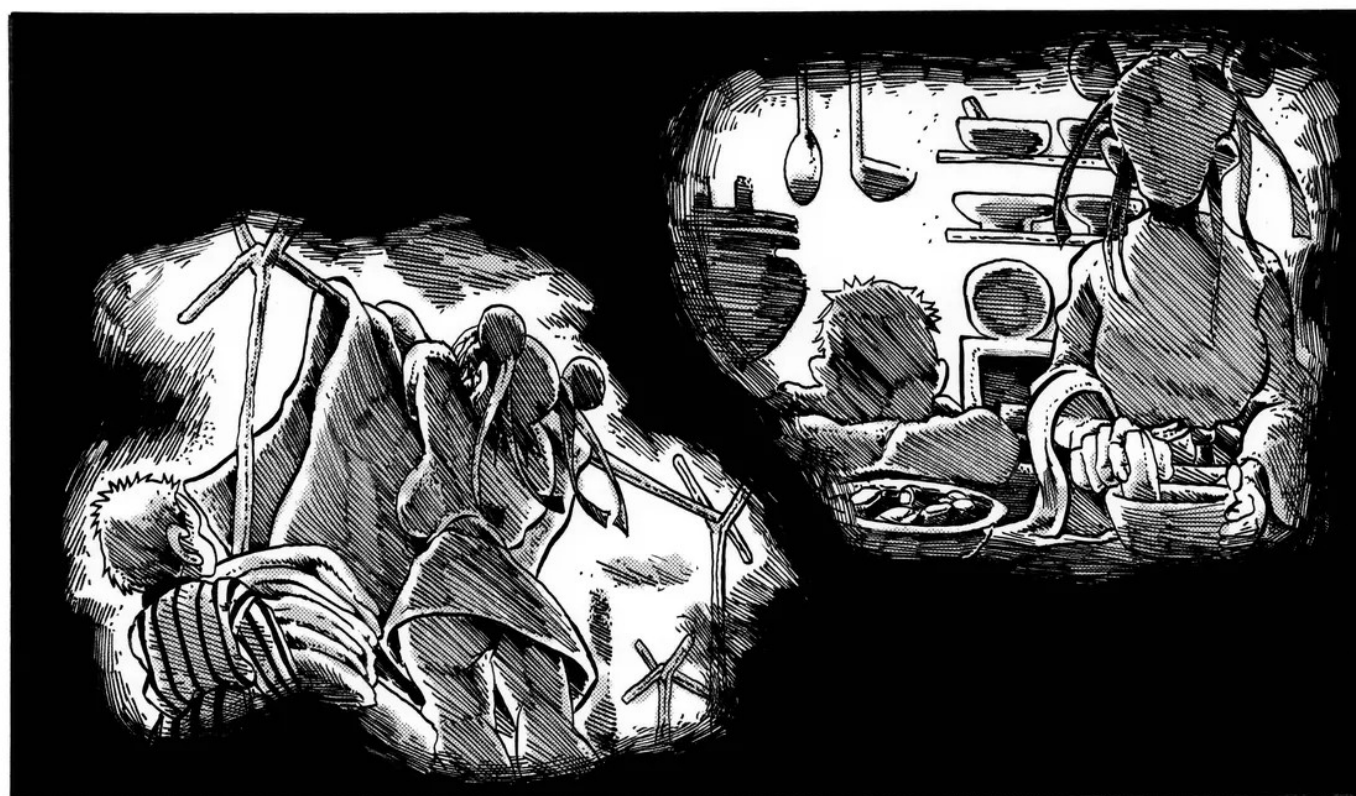
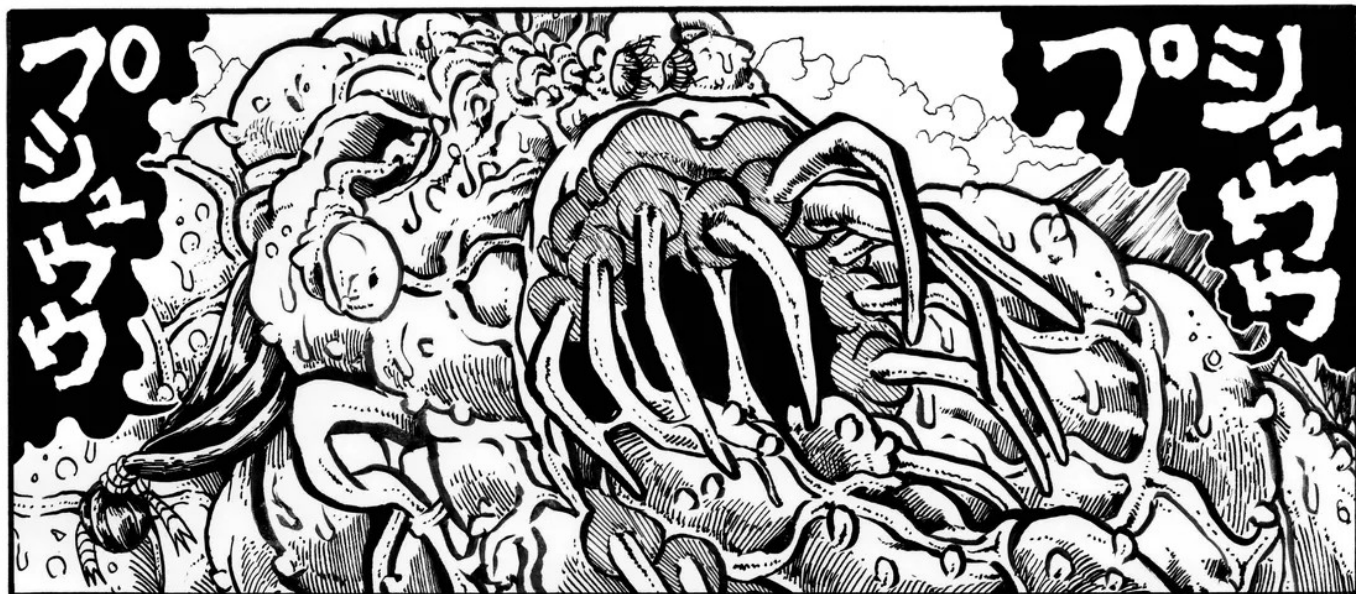




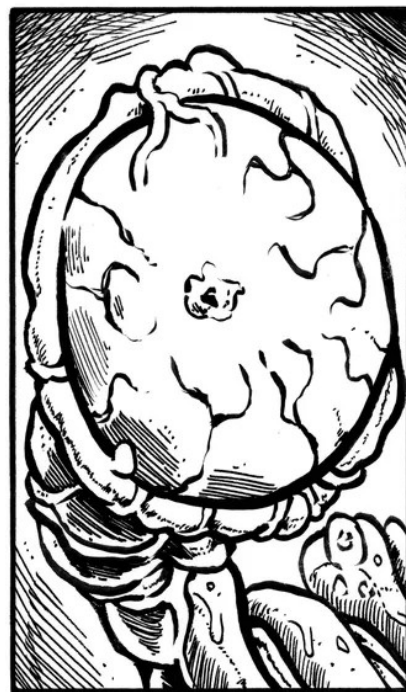
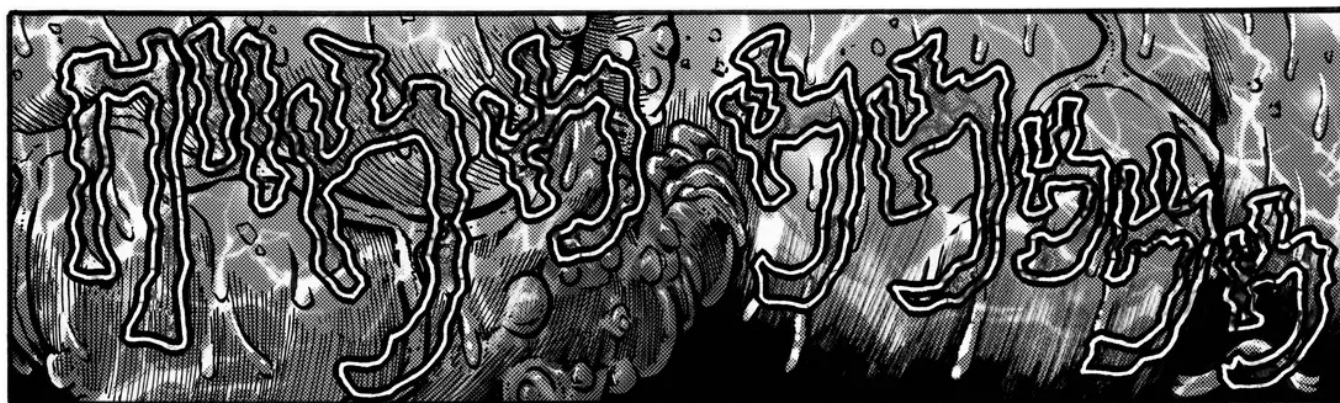
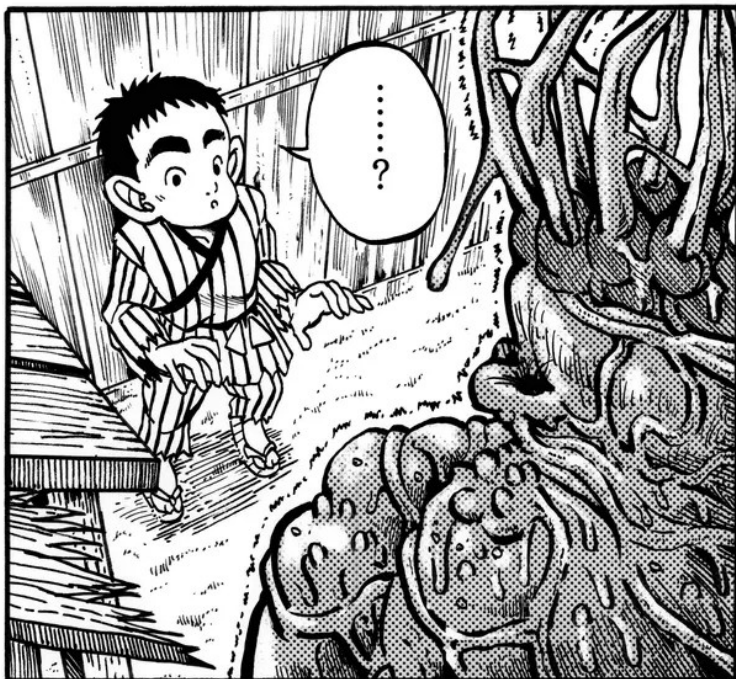


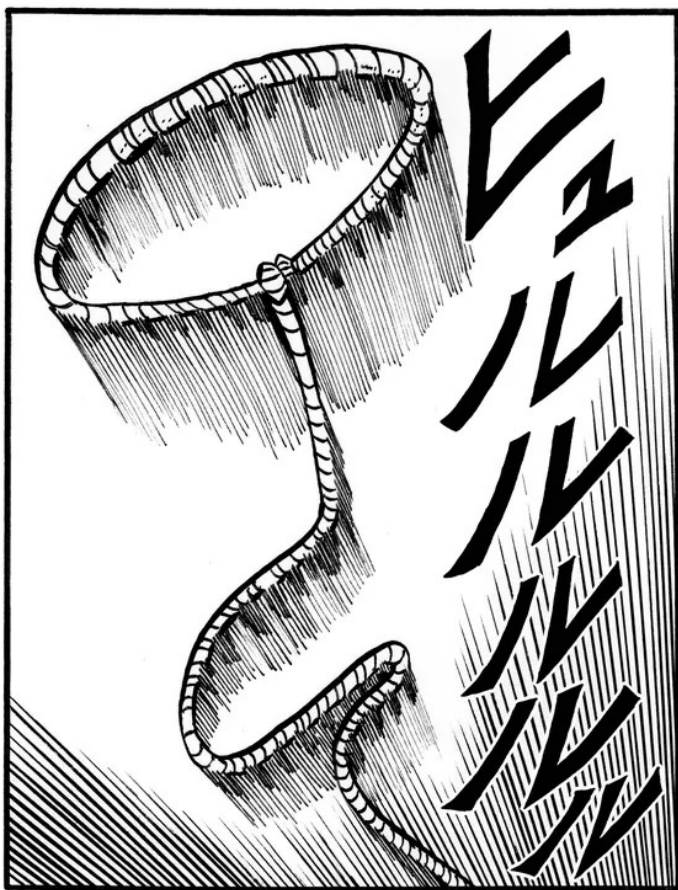
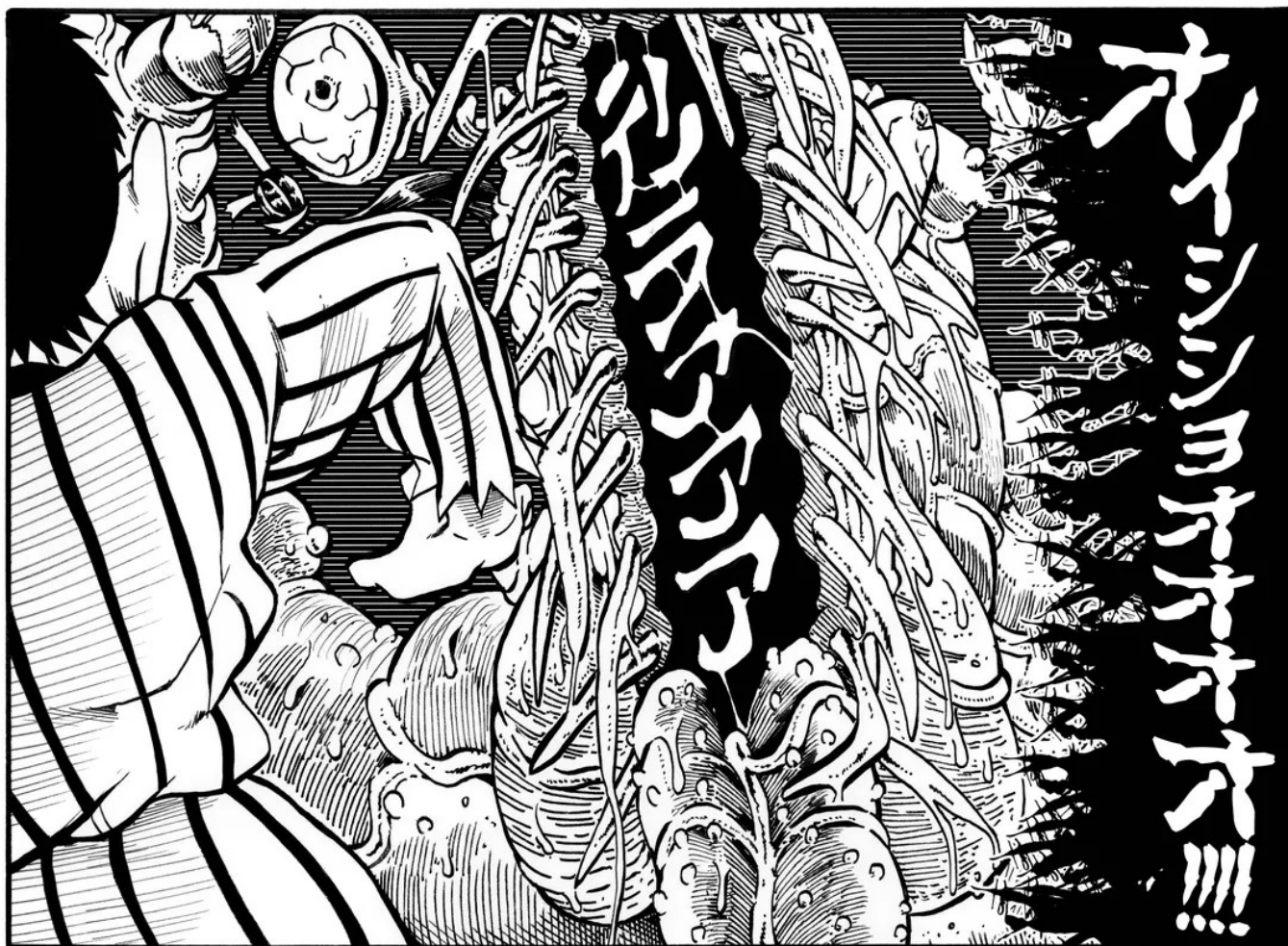














バザアアア

